

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～42
世 界 史	44～58	地 理	60～71
数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

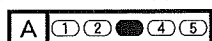
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

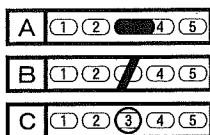
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(地 理)

〔I〕 つぎの文章を読み、かつ図1を見ながら下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

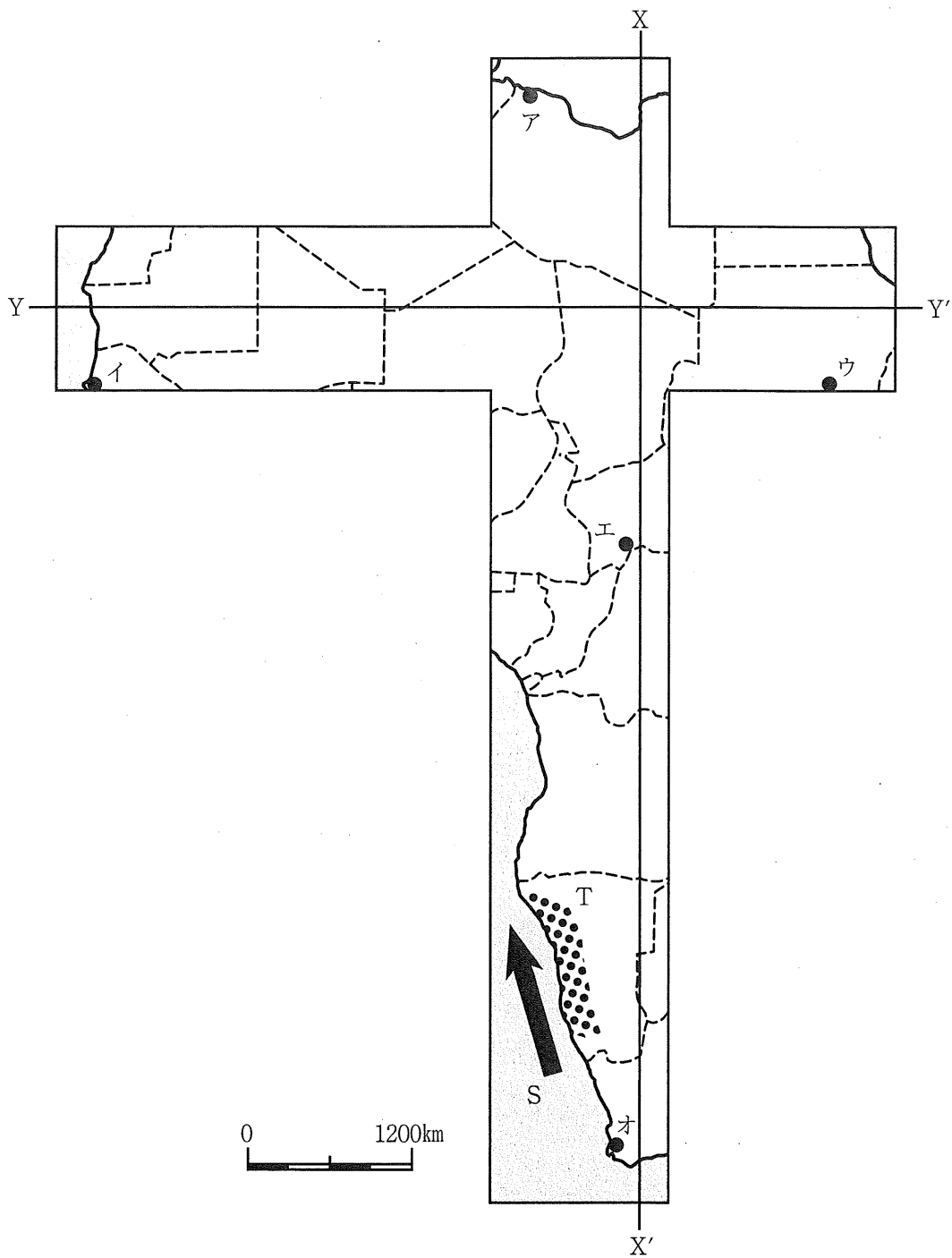
アフリカ大陸は東西7,400km、南北8,000kmほどで、南北両半球にまたがって位置する巨大な大陸である。この巨大な大陸は、大陸最高峰の ⁽¹⁾をはじめとする高山や、世界最長の 川やコンゴ川などの大河を抱え、加えて広大な砂漠や熱帯雨林、サバナ、ステップなど極めて多様な自然環境を有している。

この大陸の気候と植生を考える時、熱帯雨林の生い茂る高温・多湿な赤道地域 ⁽²⁾に中心を置いた南北対称のイメージをすると理解しやすくなる。つまり、その中心から離れるに従って徐々に乾燥が進み、サハラ砂漠の南縁に沿って帯状に広がる 地帯のような半乾燥の地域を経て、砂漠へと移行する。この砂漠に象徴される乾燥地域は、大気大循環から見れば 帯に符合している。この砂漠地域のさらに外側には、地中海性気候などの温帯気候が連なる。

アフリカの多くの地域では、乾季と雨季が生じて、内陸部では季節間の気温差がやや大きい。それに対して沿岸部は沖合を洗う海流の影響を被りやすい。太陽が赤道以北にある4～9月には、夏に相当する北半球側に降水域がシフトし、 ⁽³⁾ 南半球ではそれが時期的に逆となる。アフリカの雨季は晴れているようでも、毎日のように突風を伴う強雨の が数時間ほど降っては止む。

このアフリカ大陸こそ人類そのものの誕生の舞台であったことが知られており、その点から人類祖先の地と言える。つまり、新人(ホモ・サピエンス)においてもこの地から世界各地へ拡散していったと考えられている。なお、アフリカ大陸内においても、人種・民族や言語・宗教などを引き合いに出すまでもなく、その内部に多様性を抱えており、 ⁽⁴⁾ しかもそれがモザイク状に入り組んでいる所も多い。その結果として複雑な世界をつくり上げている。アフリカを『モザイクの大陸』と呼称するのはそのためである。

(一部、米山俊直の文章を改変して引用)



(メルカトル図法による)

図 1

地理

問1 上記の文章中の空欄 ～ に入る最も適当な地名や用語を答えよ。

問2 上記の文章中の下線部(1)に関連して、ある経・緯度線に沿った幅でアフリカ大陸の一部を図示したのが図1である。図中の経度線(X～X')と緯度線(Y～Y')の示度をそれぞれ答えよ。ただし、双方とも第1位の桁(けた)の数字は0とする。

問3 図1中に示した海流(S：図中の矢印)と砂漠(T：図中のドット)の名称をそれぞれ答えよ。

問4 上記の文章中の下線部(2)に関連して、下の図2に図1中のア～オの各都市を含む6地点のハイサーグラフを示した。ア～オの各都市に最も当てはまるグラフを下の①～⑥のうちから一つずつ選んで、その番号で答えよ。なお、図1中に示した都市は、ケープタウン、ダカール、トリポリ、ハルツーム、バンギの5都市のいずれかである。

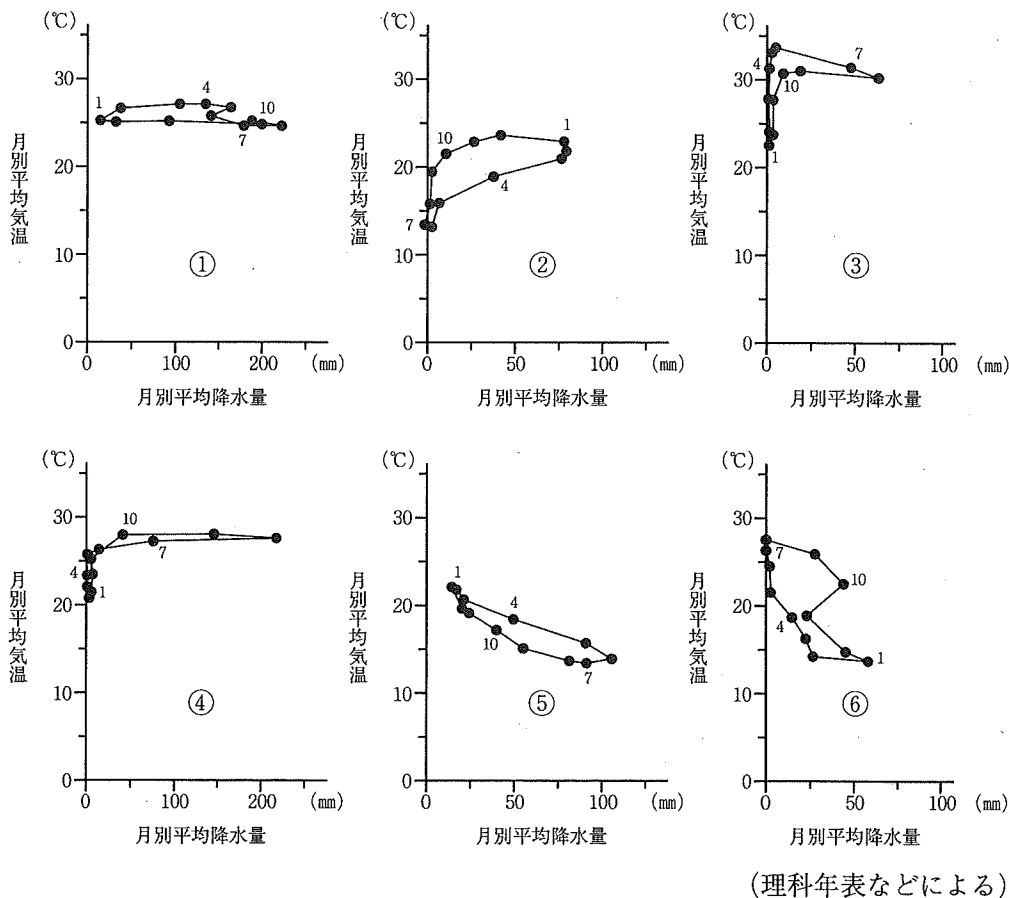


図2

問5 上記の文章中の下線部(3)に関連して、アフリカ大陸の低緯度地域に降水をもたらす原因について、30字以内で説明せよ。ただし、句読点も1字として数える。

地理

問6 図1中のTのような沿岸部に砂漠が形成される原因について、30字以内で説明せよ。ただし、句読点も1字として数える。

問7 上記の文章中の下線部(4)に関連して、図1中のア～オの都市が属する国別に、いくつかの指標を示したのが、下の表である。表中のM～Qに該当する国名(正式名称でなくても可)を答えよ。

表

指標	出生率	死亡率	平均寿命	識字率	1次エネルギー消費量	国民総所得(GNI)	1人当たりのGNI
国\調査年次	注参照	注参照	2013年	2015年	2011年	2013年	2013年
M	20.7% ¹⁾	4.2% ¹⁾	75.4歳	91.0%	1,313万 t	741億ドル	11,956ドル
N	21.0 ²⁾	12.5 ²⁾	56.7	94.3	13,281	3,938	7,410
O	33.5 ¹⁾	8.4 ¹⁾	62.0	75.9	506	588	1,550
P	34.3 ²⁾	15.2 ²⁾	50.1	36.8	11	15	320
Q	35.3 ¹⁾	10.1 ¹⁾	63.4	57.7	185	148	1,050

注)出生率、死亡率の調査年＝¹⁾：2013年、²⁾：2010～2015年。なお、1次エネルギー消費量は石油換算の総量である。

GNIは世界銀行のアトラス法によるドル建て換算値。

資料：『データブック オブ・ザ・ワールド 2016』による。

問8 長い間、アフリカの多くの国々はヨーロッパ諸国の植民地下にあった。それでもいわゆる『アフリカの年』と言われた1960年を境に、多くの国々が独立を果たして今日に至っている。下の図3は、図1に描いた範囲の国々のうち、1960年代に独立した国々を、凡例に示した5つの旧宗主国に着目して図化したものである。凡例のA～Cに該当する旧宗主国として最も適当な組み合わせを①～⑥のうちから一つ選んで、その番号で答えよ。なお、かつての植民地の領土は現在の国土の拡がりとは必ずしも一致していない。

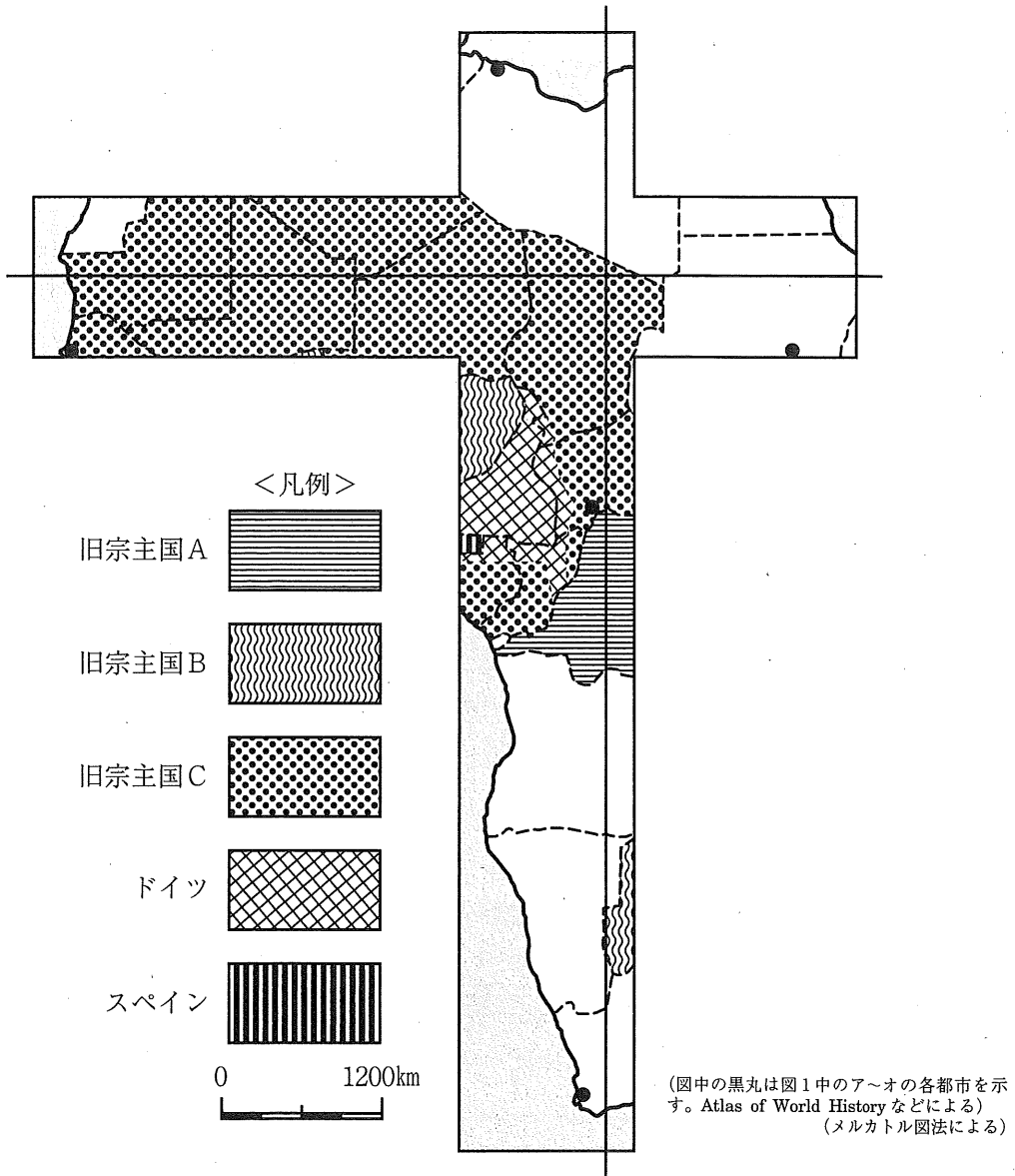


図3

地理

	A	B	C
①	イギリス	フランス	ベルギー
②	イギリス	ベルギー	フランス
③	フランス	イギリス	ベルギー
④	フランス	ベルギー	イギリス
⑤	ベルギー	イギリス	フランス
⑥	ベルギー	フランス	イギリス

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

地球の地軸が地球表面と交わる北および南の点を および とい、地軸を含む平面が地球表面と交わる線を 線、地図上では という。また、地軸の中心で地軸に直角に交わる平面が地球表面と交わる線を という。また、 に並行な地球表面上の線を地図上では という。

緯度とは、ある地点における地球表面に接する平面と地軸とのなす角をいう。

は地軸の北のほぼ延長上にあるため、北半球では の高度角を測ればその地点のおおよその緯度を知ることができる。

経度とは、イギリスの旧 天文台を通る 線を本初 線とし、本初 面と地球上の任意の点を通る 面とのなす角度をいう。本初 線を経度0度、その東側を東経、西側を西経とよぶ。180度は経度180度とよび、それはおおよそ に一致している。経度は、経度の知られている点と他の任意の地点間の時間差を測って計算によって求めることができる。地球はおおよそ24時間で自転しているので、時間の1秒⁽¹⁾の違いは、経度差では 秒になる。ちなみに、経度差1秒は、赤道上では約30m、緯度30度付近の地表面では約25m⁽²⁾もあるので、経度の測定には正確な時間の測定が絶対に必要な条件になる。

(日本地図センターより引用、一部改変)

問1 上記の文章中の空欄 ～ にあてはまる最も適当な語句や数値を、解答欄に記入せよ。ただし、同じ記号の空欄には同じ言葉が入る。

問2 上記の文章中の下線部(1)に関して、日本において2017年1月1日午前11時の時、アメリカのニューヨークでは何年何月何日の何時か、解答欄に記入せよ。なお、アメリカ東部標準時は西経75度を基準としている。

地理

問3 上記の文章中の下線部(2)に関して、緯度30度線の長さはおおよそ何kmか。

本文中の数値を使って計算し、解答欄に計算式と計算結果を記入せよ。

問4 地図の種類として、その内容や使用目的によって分類した場合、特定のテーマを強調して描いた地図を主題図とよぶ。つぎの(ア)～(ク)の中から**主題図**とは言えないものを二つ選び、解答欄にその記号を記せ。

- | | |
|---------------|-------------------|
| (ア) 洪水ハザードマップ | (イ) 現存植生図 |
| (ウ) 地球儀 | (エ) 等価値線図 |
| (オ) 高速道路マップ | (カ) 立体地図(レリーフマップ) |
| (キ) 土地利用図 | (ク) 気候区分図 |

問5 近年、コンピュータ上でさまざまな地図を重ね合わせることによって、地理情報をよりわかりやすく表現し、さらに空間分析も可能である地理情報システム(GIS)が広く社会で利用されるようになった。GISに関して述べたつぎの(ア)～(エ)の中から、最も適当なものを一つ選び、解答欄にその記号を記せ。

- (ア) GISで地図情報を重ね合わせる時は、それぞれの地図の図法や座標系が異なってもそのまま空間分析できる。
- (イ) GISで重ね合わせることができる情報は地図情報に限られ、統計データなどは重ね合わせることができない。
- (ウ) GISは主題の異なる空間情報を重ね合わせて表現・分析することができるが、衛星写真など「点」の集合からなる地図情報は利用できない。
- (エ) GISは社会・経済現象を分析するだけでなく、地形の三次元表現や自然災害の予測などにも応用することができる。

〔Ⅲ〕 国境について述べたつぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

もともと地球上には人為的な境界など存在しなかったはずだが、現実の世界はさまざまな境界で区切られている。その性格は、決して越えられない「鉄のカーテン」から、そこに存在することをまったく意識せずに自由に往来できるものまで、多種多様だ。いろいろな境界を並べてみると、その類似性と相違に気がつく。

日本海からユーラシア大陸に向かうと最初の国境は と のそれである。 の国境・国境地域は、世界の中でも厳しく管理されていることで知られている。トマン川(豆満江)の向こう側は 。鉄橋で二つの空間が結ばれているが、二重三重の警戒網が敷かれ、国境周辺への立ち入りも厳しく制限されている。国境警備隊は山の上から監視しており、立ち入る者がいると四輪駆動車で追いかけて尋問する。無許可ならもちろん拘束され、長時間の取り調べを受ける。同じ の国境でも西端近くとなると様相が変わる。1980年代から90年代に激しく動いた東欧諸国の国境と違い、少なくとも1970年代以降、ソ連期から安定してきたフィンランドとの国境は、 側でさえ緊張感がない。フィンランド側に至っては国境警備隊が笑顔で応じてくれるし、観光客は写真を撮り放題だ。

だが国家と国家を仕切る線はある日突然生まれ、そして消える。「ベルリンの壁」こそ、その代表例だ。1961年、東西別々の空間ではあったが自由に往来できたドイツのベルリンが、当時のソ連の最高指導者フルシチョフの命令で「壁」によって仕切られた。以後、この壁を越えようとした多くの市民が犠牲になるのだが、1989年11月10日、壁はあっけなく崩壊する。

空間を分かつのは国家だけではない。 と が長期にわたって抗争を繰り返してきた1970年代の のベルファスト。ここにも両者を分かつ境界、いわゆるピースラインが建設されていた。1998年の合意以後、往来は自由になったが、住民たちが交流することは多くなく、またベルリンと同じようにその跡が残っている。

イスラエルほど、「国境」と呼べない境界が至るところで可視化された空間はな

地理

い。イスラエルが主張する首都 **f** は宗教的な境界の集積地といえる。その意味でこの地は、境界の「聖地」でもある。「嘆きの壁」近辺はもっとも象徴的だろう。 **f** を東側に出れば、ヨルダン川西岸の **g** 自治区だ。ガザとともにこれら **g** 自治区はイスラエルによって仕切られた空間となっている。イスラエルの圧迫は激しい。中東戦争の停戦によるグリーンライン(森が仕切られたライン)よりも **g** 側に設置されたフェンスで **g** の空間をさらに切り詰める。イスラエルの入植者が増え、壁がさらに伸び、チェックポイントが作られる。その境界の機能は明らかに国境に匹敵するが、これが正式に「国境」と呼ばれることはない。 **g** 人から見れば、この境界は自分たちの生活空間を囲い込み、そびえたつ明らかな「壁」である。一方、「壁」という表現自体をイスラエル人は受け入れない。彼らにとって、これは「テロリスト」から自分たちを守る「フェンス」である。自他の区別、そして相対する認識。物理的な境界の意味はこれに関わる当事者たちによって違う。人によっては自らを抑圧する「壁」でも、相手にとっては自分たちの安全を守ってくれる必要不可欠の「フェンス」なのだ。同じものを見ても、その風景が異なって見える。

国境とは呼べないが、事実上国家権力が対峙する境界。そのような境界は通常の国境よりもしばしば厳しい管理下に置かれる。 **b** と韓国の境界こそ、かつてはそうだった。 **h** は当時、対峙する両国でただ一つ開かれた空間だった。両国の境界は軍事境界線と名づけられ、国境と呼ぶことを忌避されてきた。国境と呼ぼうが呼ぶまいが、ここには権力空間を分かち明らかな境界が存在する。むろん、国境と呼べても、フェンスがなくとも、厳しい境界は存在する。アフガニスタンとタジキスタンの国境、こちらはパンジ川。2000年代に入っても、ソ連解体直後に勃発した内戦の傷跡は深く残っていた。川べりには戦車の残骸と **a** 語で書かれた地雷の文字が見える。再びイスラエル。ここから北に向かうと **i** 高原。 **j** とイスラエルに国交がないのだから、その境界は厳密には国境と呼べまい。世界でも厳しい権力空間の狭間。地雷注意の看板が見える。

k と **l** の国境は、同じ物理的存在が相対する側で違う役割を果たしている顕著な例である。 **k** から **l** に抜けるのは通常たや

すい。パスポートのチェックもない。だが [l] 人が [k] に行くのは容易ではない。より良い暮らしを求めて [k] へと向かう [l] からの人の流れは絶えないが、彼らにはこの「フェンス」は「壁」のように感じられるに違いない。 [l] から [k] へ入ろうとすると、パスポートやビザの厳格なチェックが行なわれるのみならず、待ち時間も長い。ティファナやシウダーファレスなど大都市では、長い車列や歩行者の行列が続く。2001年の「9・11」以降、国境のセキュリティは強化され、フェンスの二重化が進むとともに入境ポイントでの検査の時間が大幅に増えた。両国を仕事で往来する人々にはファストパスがあるが、それでも何かあると国籍に関係なく渋滞に巻き込まれる。何(誰)をどのようにいつ通すか、あるいは通さないか。境界の透過性はさまざまだ。

(岩下明裕の文章を一部改変)

- 問1 上記の文章中の空欄 [a] ~ [l] に入る最も適切な語句(国・地域名, 都市名など)を答えよ。ただし, 同じ記号の空欄には同じ語句が入る。なお, 国・地域名は略称でもかまわない。
- 問2 上記の文章中の下線部(1)について, これはどのような様子を指しているのか, 簡潔に説明せよ。解答欄の枠内であれば字数は問わない。
- 問3 上記の文章中の下線部(2)について, その理由を簡潔に説明せよ。解答欄の枠内であれば字数は問わない。